

ふしょうっこ日記

令和7年7月8日

「親切な方」

先週の金曜日、京阪電車を利用されている方から電話がありました。

電車の中で、本校児童の名前が書かれたプリントを拾われたとのこと。その方が下車される駅では、駅員さんがいらっしゃらず、預けることもできなくて電話をかけてきてくださいました。その駅まで学校から取りに行こうと思いましたが、これからご予定があるとのこと。どうしようかと考えていると、「夕方届けます」と言ってくださいました。申し訳ありません…。夕方、再び電話がかかってきました。「時間ができたので、今から届けます」と。そして、学校まで届けていただきました。お名前をうかがうと、「いや、そんな、当たり前のことですから・・・」と名乗らずに、お辞儀をして帰って行かれました。高校生か大学生かのご年齢の方で、清々しい気持ちになりました。そのプリントは、学校に提出するお便りでした。「きっと困っているだろう」と思い、親切に届けていただいたのだと思います。本当に、ありがとうございました。

京阪電車に乗っておられる方からのお電話はよくない内容が多いので、ほっこりしました。あの方の親切な行動は、どのような思いからなのか、その思いはどのような経験が元になっているのかと考えてしまうのは、教師をしているからでしょうか…。

